

世界需要KANBAN

WorldWide Request KANBAN

岡野 あゆみ
米倉 健太

現状の問題

需要情報が正確に伝わっておらず、
供給側とミスマッチが起きている。

解決法

需要情報をLOD化し、
供給側と共有する。

期待される効果

需要とバランスのとれた供給が可能となり、
迅速かつ無駄のない支援を実現。

1. 現状

—東日本大震災では—

● 供給不足

支援物資が足りず、強盗、窃盗が相次いだ。

- ・地震発生から約一週間後、避難生活が長引き、現金、食料、水、ガソリン等が盗まれる被害が多発した。



出典：2011年3月17日朝日新聞

● 供給過多

支援物資が被災地で余って山積みになってしまった。

- ・支援物資の多くが被災地に届けられないままになってしまった。
- ・引き取り手が無く、廃棄したり、リサイクル業者に引き渡された。



出典：2011年4月21日読売新聞

—世界では—

支援しようと思っても、

- ・一般には、外務省、WHO、NGOのwebサイトくらいしか情報がない。
- ・支援団体の既存の活動の延長くらいしか方法がない。
- ・そもそも入ってくる情報が少ない。

2. 現状の問題点と原因

情報がバラバラしていて集約されていないため、
至るところで需要と供給の**ミスマッチ**が発生している。



需要側 [・支援が必要ときに、どうやって助けを求めるべきかとうさに分からない。
・支援に関するとりまめがバラバラなため、場所によって偏りが生まれている。
・メディアでの取り上げられ方によって、支援に偏りが出してしまう。]

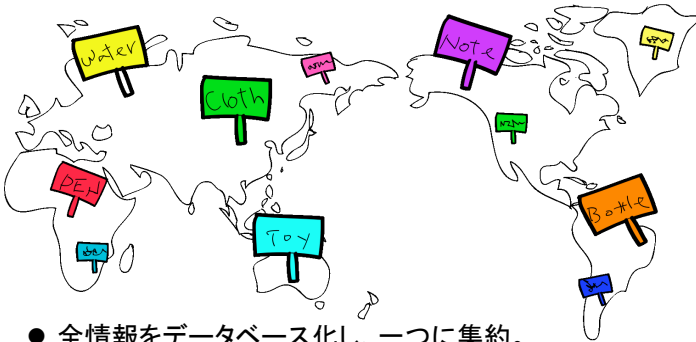
供給側 [・支援をしたくても、情報がバラバラに存在していて把握できない。
・支援の具体的な方法が分からない。]

3. 解決方法

● 情報のやりとりに**KANBAN**方式を利用。

? KANBAN方式とは?

1. 需要者が欲しい物や量の情報を、その都度配信。
2. 供給者は、需要者の情報を受けて、その分量のみを供給。



- 全情報をデータベース化し、一つに集約。
- 情報を皆で共有。

5. 得られる効果

- 必要な物、量、場所、状況が迅速に把握できる。
- 適切な需要供給バランスが実現できる。
- 無駄を減らすことで、環境保護への貢献ができる。



4. 具体的な構築法

Web上で需要データベースを閲覧、操作可能とする。

キー名称	データ型	用途
物資名称	文字列	物資の具体的な名称。 ex) 飲料水, 毛布
数量	数値	必要な物資の量。
需要発生日	日付	供給側が優先順位を考える参考に使うことを想定。
緊急度	文字列	長期的な需要と、緊急のものを区別するのに使用。
現地担当者	文字列	赤十字やNGO法人等。発送時に使用。
担当者連絡先	文字列	発送時に使用。
需要期限	日付	期限が過ぎると不要なものに使用。 ex) 電気インフラ復旧までの発電機。
金額	数値	需要側が供給側に支払うことが可能な金額。無償も可。
受領方法	文字列	現地の郵送インフラが使用できるのか等。
言語指定	文字列	現地担当者が特定の言語しか理解できない場合等に使用。
受領不可物資	文字列	現地の法律や宗教上等の理由で、受領ができない物資がある場合に使用。

6. アプリケーション例

● 長期的支援が必要な例

紛争地域や発展途上国で必要な医療機器、教育機材などの
支援情報を共有。

● 緊急的支援が必要な例

大規模な自然災害等で緊急に必要な医薬品、生活物資、
住環境などの支援情報を共有。

● 身近な例

転出する一人暮らしをしている学生と、新たに一人暮らしを
始める学生間とで家具家電の受け渡しを行うための情報を
共有。